

住宅・建築SDGs フォーラム 第25回シンポジウム

ジェイ キャット

J-CAT 2024.10 正式版の全貌

～ 試行版からの改訂内容 と ゼロカーボンビル評価のこれから ～

日時 2024年11月1日(金) 13:30-15:30

開催方法 Zoomによるウェビナー方式

主催 住宅・建築SDGs フォーラム
一般財団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター(IBECS)

共催 一般社団法人 日本サステナブル建築協会(JSBC)

参加費 無料

定員 1000名

J-CAT 2024.10 正式版
10月31日 リリース!

2050年カーボンニュートラル社会の実現に向けて、我が国では建築物省エネ法の改正等による ZEH/ZEB の普及・推進など、建築物運用段階の「オペレーショナルカーボン」削減に向けた取り組みが推進されています。一方、G20 サミットの要請を受けて設置された気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) の提言に沿って、欧米を中心に、建築物の資材製造・施工段階から改修、解体、廃棄段階の「エンボディドカーボン」を削減する取組も始まっており、特に、資材製造・施工段階までの「アップフロントカーボン」を建築規制に取り入れる欧米の国・自治体も出現しています。

また、我が国でもプライム市場上場企業の TCFD 提言に沿った情報開示が 2021 年 6 月に実質義務化されたことを契機に、「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン」(環境省・経産省)に従い、多くの不動産会社が「アップフロントカーボン」の情報開示を始めています。さらに、2024年8月には、企業が2050年までの実質的な二酸化炭素排出量ネットゼロ目標を設定するための科学に基づく基準を定義した国際的枠組み (Science-Based Targets Initiative : SBTi) による建築部門ガイダンスが発行されるなど、建築に関連の深い企業における「ホールライフカーボン」の把握はさらに重要になってきています。

本シンポジウムでは、2022年12月に一般財団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター (IBECS) 内に設置された「ゼロカーボンビル推進会議」が開発・公表する「建築物ホールライフカーボン (WLC) 算定ツール、呼称: J-CAT (J-Carbon Assessment Tool) 2024.10正式版 ※商標登録出願中」の概要と特徴を、今年5月に公開した2024.05試行版との違いを中心に解説します。

さらに、パネルディスカッションを通して、ライフサイクルカーボンの算出・評価に係わる省庁連絡会議や来年度予算など政策的な動向を紹介するとともに、J-CATの今後の展開について探ります。

■プログラム 今後変更することがあります

※EPD: Environmental Product Declaration (環境製品宣言)

全体司会: 長崎 卓 一般財団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター 専務理事

1. 挨拶 (5分) 13:30~13:35

村上 周三氏 ゼロカーボンビル推進会議委員長 / 一般財団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター顧問

2. J-CAT2024.10 正式版の概要 (20分) 13:35~13:55

伊香賀俊治氏 委員長代理、WG・SWG主査 / 一般財団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター理事長

3. J-CAT2024.10 正式版の特徴、試行版との違い (25分) 13:55~14:20

丹羽 勝巳氏 幹事 / (株)日建設計

4. J-CAT2024.10 正式版へのユーザーからの要望と期待 (15分) 14:20~14:35

高井 啓明氏 SWG委員 / (株)竹中工務店、柳井 崇氏 委員 / (株)日本設計、山本 有氏 委員 / 三井不動産(株)

5. パネルディスカッション

「J-CATとゼロカーボンビル評価、建材・設備EPD※のこれから」(50分) 14:35~15:25

パネルディスカッション司会: 伊香賀俊治氏 (前出)

村上 周三氏 (前出)、今村 敬氏 (内閣官房 内閣審議官)、

前田亮氏 (国土交通省 住宅局 参事官 (建築企画担当)、丹羽 勝巳氏 (前出)

6. 閉会挨拶 (5分) 15:25~15:30 伊香賀俊治氏 (前出)

お申込み 下記 URL よりお申し込み下さい。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_4dTKvkZ6S6idjtTX7JCTKQ

一般財団法人 住宅・建築 SDGs推進センター(IBECS)

問合せ先

電話: 03-5213-4191 (平日 10:00~17:00)

住宅・建築SDGsフォーラム事務局

メールアドレス: sdgsforum@ibecs.or.jp